

# 鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース

(第23号・2017年12月発行)

発行：(略称)コミバスをよくする会  
事務局：辻井良和 方  
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36  
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

## 玉城町に 出来て鈴鹿で 何故できぬ 叶えて欲 しい 事故する前に

自治会、老人会の会長さんらにこの9月、コミバスの会の提案についてのご意見をお聞きしました。上記タイトルは返信の一節ですが、コミバスに対する思いが表れていると思います。大きく3つの設問ですが次頁以降で、何人かの方の返信を原文通り掲載します。また12月末に、この声を末松市長に届け、コミバスの会の提案についての市長の感想を直接お聞きする予定です。年明けには、第3回総会を予定しています。会員の皆さまの声をお聞かせ下さい。

多くの皆さんの  
ご参加をお願いします。



鈴鹿市民のコミバスをよくする会  
**第4回総会のご案内**  
**日時：2月21日(水)**  
**午後1時30分～3時**  
**場所：社会福祉センター**  
**2階中会議室**

### 発車オーライ

★9月に自治会長さん、老人会長さんらにアン

ケートをお送りして、コミバスをよくする会の提案に対して、ご意見をうかがいました。60人を超すたくさんの方から、住民の願いをしっかりと伝えて頂きました。お忙しい中で、細やかなお返事を下さったことに感謝し、そのご意見をよく吟味検討させて頂きます。

★中央に循環路線を設け、各地域にオンデマンドバス(予約で自宅近くに来てくれる小型バス)の組み合わせについては、多くの方が「このアイデアは賛成できる」「玉城町の元気バスのように実現してほしい」との声が届けられました。

★利用料については、「無料がいい」「多少の負担はいいがなるべく低く設定してほしい」「1日何回乗っても200円」「年間3千円なら」とか、いろいろありました。が、願いは安くしてほしいという願いが強く感じられました。

★利用の仕方では、病院や、買い物のほか、知人友人を訪ねる、公民館や老人会の集まりに使いたいなど、オンデマンド交通が出来たら市民の交流が広がり、市民の一体感が強まる予感がします。

★その後、このアンケートは名前を伏せてコピーし、まとめて末松市長さんに届けて、目を通して下さいとお願ひしました。その結果、年末に市長さんとお会いできるようになりました。たくさんの方の自治会長さん

んからの声が伝わったからだと感じます。  
★コミバスをよくする会の活動は、鈴鹿市民の交通環境を鈴鹿市の広い地域にふさわしいものにして、生活を便利にすることで暮らしやすい街にして、鈴鹿市民の喜びや誇りを持ってもらうことです。

★今年4月に鈴鹿市文化会館で行ったシンポジウムでは、思い切った財源についても実現可能な金額を提案し、鈴鹿市の負担だけでなく、利用者の負担についてもこの程度ならご理解が得られるだろうと、年間3千円という個人負担額も提案しました。

★この中央循環バスと地域オンデマンド小型バスの組み合わせが動き出せば、利用者は大きく広がり、鈴鹿市の財政負担は少なくなることも予想されます。会員制のバス運行と同様の運営になり、全市民が会員になれることとなります。

★年末に市長さんとお会いして、共に夢を語る時間を頂き、明日の鈴鹿の便利な交通システムについて、一つの方向に進んでいくように願っています。もちろんこの懇談一回ですべてが解決することは無理ですが、実行の方向で調査検討を始めて頂くことが出来れば、実現の可能性が大きく広がるでしょう。

★多くの自治会・老人会長の皆さんが、それぞれの自治会・老人会員さんのご意見を、さらに詳しくお聞き頂くが必要になると思います。是非とも市民が喜ぶ交通システムの実現に向かって、ご一緒に進んで下さることを願っています。(辻井良和)

**設問①** 高齢化社会を迎え、高齢者と交通弱者のための移動手段の確保＝生活交通バスの創設は焦眉の課題だと考えますが、あなたのご意見をお聞かせ下さい。

・我が地域は、公共交通に加え、スーパーや医療機関もなく、不便を強いられています。「免許など 返納できるかこの町で 住んでごらんよ 離島のごとし」と、いった心境です。コミバスが値上がりしたと友は嘆いています。財源に限りがありますから、応分の負担は、ある程度やむを得ないものと受け止めております。同じ市に住みながら、この不便には閉口しております。

・いずれ利用することになる。現状では自家用車ですが外出好きな私は大変良いことと思います。利用する利便差は ひと事に思っています。身近な方が多くなれば相談やら意見も出ると思っています。稲生地区の夢協にも話しをして取り組まれると地域ごとの問題も出てくると思えます。頑張ってください。有り難うございました。

・オンデマンドバス、いいですね！玉城町の「元気バス」は聞いたことがあります。スマホで予約するから、スマホも使えるお年寄り、やっぱり町の福祉課ががんばってるんですね。いまいち不自由がないのでピンと来ないのが現状です。

・高齢化が進み現在、コミバスの役割は大変大きいと考えます。特に高齢者の車事故が増す中、免許の返納をすべき様な人が危険な状態で運転しています。これは車がなくなれば大変不便をきたすからであり、コミバスが充実すれば状況は大きく変化すると考えます。一日も早いコミバスの充実を望みます。

・身近に車を運転できる人がいない高齢者にとってはいいことだと思います。運転が出来る人がいても、屋間は高齢者一人で身内に毎日たのめないの、外出の回数が増えるのではないかと。生活交通バスと地域巡回オンデマンドバスの待ち時間が長くならないように。

・国道23号の東側地域は今のC-BUSでさえも恩恵を受けられません。近鉄の駅から遠い地区もあります。「うちとこもC-BUS来てほしいわ」と

の声もあるようです。どのような基準でC-BUSのコース、また“中央循環バス路線”が決められたのでしょうか？

・高齢者の生活交通活動ご苦労さまです。この問題は多くの自治体に於いて最重点課題の一つだと思っております。今は高齢者だけで生活している家庭も多く、出かけたけれど停留所まで3K以上も歩かなければならず、子どもが休みになるまで、我慢している高齢者も多いのが現状だと思います。主要バス停から自宅までの足の確保(フィダー ビークル)をどのような形でシステム化するかが最大の課題と考えます。

・いずれ必要不可欠な交通手段であります。最大の課題は財源なので、利用者負担もある程度許容が必要です。



・超高齢化にむけて必要な事だと思う。各地域の特性を生かし運営できれば(利用しやすい方法で)。

・将来、車を運転できなくなった時、中央病院へのアクセスはバスになります。鈴鹿市駅より同病院へは1日5本しかないため、玉城町「元気バス」が必要です。

・考え方には賛成です。利用者に不満の生じない内容に充実して頂きたい。さもなければ人気倒れになってしまうのでは？

・交通インフラの行き届いていない地域の高齢者の方々に利用して頂く事により、生活の多様性、独立性を引き出し、地域の活性化に繋がると考えます。

・要支援の妻をかかえ、現在は車にて買い物、病院などへ行っておりますが、高齢のため近い中に免許証の返納も考えており、しっかりした交通確保が必要であります。

・交通弱者の増加により、バス利用率は高くなると思われ、今後オンデマンドバスは必要不可欠となると考えます。



**設問②** 生活交通バスは、どのような使われ方(乗り方)が期待されると思いますか。

・安くて、安全で、使いが手の良い手段であってほしいと思います。元気な方は一日に複数回乗ることもあるように思えます。電話による予約制は、予約を100%近く受けてもらえるなら良いと思います。他の予約との調整等が避けられないのでしょうか？使い勝手が良くないと利用者が先細りするような気がします。

・地域巡回～中央循環～地域巡回～乗り継げば市内どこへでも行ける方法



・Cバスの補助としてタクシー的な感覚で地域巡回バスを運行し、予約制を基本とし地域ごとに利用日を決めて順路や停車場所を拡大する。

・各集落で1～2箇所希望停留所を確認し、それに従って集落巡回バス路線図を作成してはどうですか。運行時間は9時～17時の間でバスは9人乗り程度の車で良いのではないですか。運行方法は定時に循環するか予約制にするかは、幅広いアンケートが必要と考えます。

・市内のいろんな所にいけるので、病院行きだけでなくなのでないか。

・タクシー迄とは云いませんが、場所が増加しないと利用度が増加しない。安い料金で運行してほしい。

・高齢者は、時間がかかることに関しては、さほど苦にならない人達が多く、オンデマンドバス等が自宅近くまで電話一本で来てもらえれば出かける頻度も多くなり、自分で買い物をしたり、久しい友人宅を訪ねたりすることもできて、健康で有意義な生活が送れると考えます。

・高齢者にとって病院、買い物をベースにキメ細かなネットワークが必要です。これがしっかりすれば利用者は必ず増えると考えます。

・やはり食事の買い物、夕方にスーパーまで行ける。総合病院へのルート。市役所、公民館のルート等。

・自宅より近いところに停留所の設置。最大で1時間以内の待ち時間。遠距離、近距離に分けて移動を考慮して欲しい。小型車で良い。

・買い物、通院、公民館活動への参加など、安全に安心して出かけることが出来るようになります。また、町内には考古博物館もありますから、その利用がより多く期待されると思います。

・営業路線バスは通勤通学客を主とした路線であると思う。従って、Cバスはそれを外した、外れている路線を検討してはどうか。

・生活に応じた運行がなされると便利ですが、とてもむづかしい。例えば買い物、病院、趣味活動などの方面、時間帯など。現在の大型バスでは適応しにくい。タクシーのような小さな自動車運行と利用法はないものか？

・今までは、好きな時に好きな場所へ自分の自家用車で行けた訳ですから、出来る限りその感覚に近い乗り方が出来ればベストと考えます。同封されていた玉城町の「元気バス」の仕組みは参考になると考えます。

・利用するかしないかのポイントは、利用者にとって「便利」かどうかだと思います。便利だと思えば普段自動車を使用している高齢者も危ないということでバスを利用するかもしれません。それには、バス停が近くにないという運行経路(路線)と、運行本数が問題である。

・地域巡回とか、現Cバスのバス停を道路事情に可能な限り町内の中心へ入り込むよう変更するなど、利用者が「あまり歩くことなく楽に利用できる」ルート変更をすることが必要ではないでしょうか。運営財源も莫大なものですから、利用者の「無料化」はしなくても良いと思います。普通の住民が同じルートを走った場合の燃料代ぐらいの経費負担は払ってもらうことも大事なことと思います。

・鈴鹿市の公費で乗れることが平等で良いと思います。



・電車の駅までとか、買い物、病院通い。

**設問③**

中央循環バスと地域巡回オンデマンドバスを地域で運行しようという、コミバスをよくする会の提案についてどう思われますか？

・行政がもっと真剣に取り組み、各自治会で協議できるようにしたらどうか。

・貴会の案、最良だと思います。貴会で“火種作りの活動”として、この良案が実現できれば各地域（自治会等）に於いて、“火種を消さない為の活動”が定着し、高齢者が住みやすい地域になると考えます。不便な所でも「住めば都」で、高齢者は離れようとならないのが実情です。

・やはり地域の人を利用する為に、利用者の意見を（アンケート）まとめる事が必要と思われる！！

・三交より利便性、経費も安上がり！少々お金がかかっても良いです。運転手（定年後の方）はいくらでもいますよ！



・中央循環バスと、オンデマンドバス（出来れば元気バス）の併用が望ましいです。

・交通システムとしては大変良い考え方と思うが、費用がかかりすぎの様な感じがします。人件費などの抑制を考える必要があります。もっと効果的なシステムを期待します。

・適正な料金の支払い。ボランティアを募り地域住民で運行（少額の賃金支払いは認める）。車のリース代は市負担。電話予約もグッドアイデア。

・いつでも必要な時に、目的地へ向かうことができるのか。また、その様にタクシー代わりになるとしたら、費用が高くなるのではないかと心配。

・オンデマンドバスで、地域によりそれぞれ、だいたいの生活圏（病院、スーパー）が決まっているので、そこを重点として、利用しやすい（待ち時間短く）環境をつくってください。

・今後後期高齢者が増加するため、多少金を払っても各地区で、玉城町の様にバスの運行を図るべきと思います。

・介護施設が使用してみえる小型バスにして、バスの台数を増やし運行してほしい。

・無料化の提案。



・我が自治会も高齢化が進み、寺家連合会の端に位置するため交通手段がなく、白子や寺家の自治会主催の行事に参加できない方が多くなっています。自治会で交通手段を手配して欲しいとの意見も出ています。

・我々の地域は車がないと生活出来ない（バスも電車もない）、だから事故ともとなり合わせである。それを巡回バスにて日常の業務（買い物、医院等）が出来れば、町並みの生活が出来る。やがては知り合いとバスに乗り、楽しく買い物出来るのではないかな。

・福祉の一環として、市が運行すべきだと思うが、昨今、病院のサービスでバスが出ている時代、地域住民で運行しても万が一事故でもおきたら大変なことになるのでは？

・全く“コミバス”を利用できない地域が今のよう  
に広範囲にある以上、鈴鹿市の一般会計から費用を補填するのは、間違っていると思います。また、バス停までも歩いて行けないお年寄り、お体の不自由な方々のことも考慮した方策（例えば鈴鹿市補助金による割引タクシー券など）も必要かと思ひます。

・一挙に求めても無理なので、一步一步拡大し、腰をすえて執着したいです。



・住民への負担はなるべく少なくしてほしい。

・よくわかりません。しっかり学ばせてもらい、この地域（鈴鹿）に合った方法を見つけ出し、実行にうつすスピードもいる。

・コミバスの利用が一番の希望ですが、財政面の問題もあるようですので、せめてオンデマンドの早期実現を切望しております。玉城町のことを参考に、市は「難しい」ではなく、「しなければ」という視点で、検討していただきたいです。「玉城町に 出来て鈴鹿で 何故できぬ 叶えて欲しい 事故する前に」